

4学年 道徳科（人権）学習指導案

- 1 主題 共に生きる
- 2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

相手の思いや気持ちに寄り添い、同じ仲間として支え合い、高め合っていこうとする態度を養う。

4 指導計画

（1）これまでの学習

○道徳科

「いっしょになって、わらっちゃだめだ」（新しいどうとく4）・1時間

「合い言葉は『話せばわかる！』」（新しいどうとく4）・・・1時間

「わたしのなやみ」（ひかり）・・・・・・・・・・・・1時間

○総合的な学習の時間「あったかほっとプロジェクト」

ゲストティーチャーから学ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

（2）現在の学習

○道徳科

「ぼくだけのルールはいらない」（ひかり）・・・・・・・・2時間（本時2/2）

（3）これから学習

○道徳科

「点字メニューにちょうせん」（新しいどうとく4）・・・・1時間

5 本時の学習

（1）目標

相手の思いや願いに気付くことの大切さを理解し、同じ学級の仲間として、誰もが過ごしやすい学級にしていこうとする意欲を高める。

| | |
|-------------|--------------|
| ねらいとする道徳的価値 | B-（6）親切、思いやり |
|-------------|--------------|

（2）普遍的な学習のテーマ 共に生きる

個別人权課題名 障がい者

（3）展開

| 学習活動 | 指導上の留意点 |
|--|--|
| 1 本時の課題をつかむ。 | <p>○ 前時までの学習を想起させ、本時の課題についてとらえさせる。</p> <p>みんなが楽しく遊べる「ルール」について考えよう。</p> |
| 2 「ごうじ君」の気持ちを考える。 | <p>○ ごうじ君が置かれている状況を把握し、その痛みを自分ごととして感じができるようにする。①</p> |
| 3 「ごうじ君」の仲間として、思いや願いに寄り添ったルールをつくることができるかを話し合う。 | <p>○ それぞれの思いや気持ちを整理し、どうすればみんなが楽しく遊べるのかを考えることができるようする。</p> |
| 4 本時を振り返り、自分のこれからの行動について考える。 | <p>○ 相手の気持ちを考えて、誰もが過ごしやすい学級にしようとする、意欲を高められるようする。②</p> |

（4）評価

- 相手の思いや願いに気付くことの大切さを理解することができたか。【知識的側面】①
- 誰もが過ごしやすい学級にしていこうとする意欲が高まったか。

【価値的・態度的側面】②